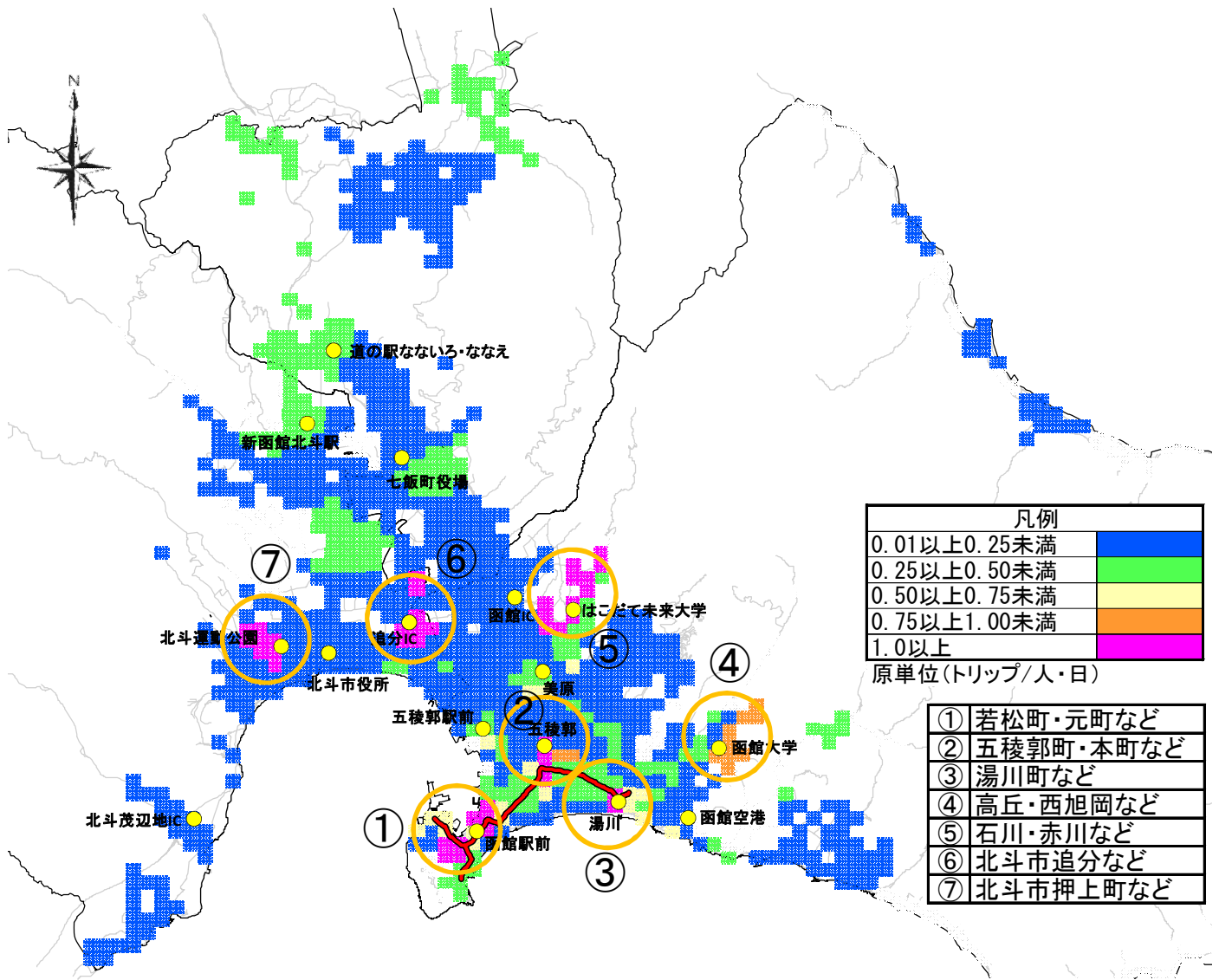




## 5. 函館圏の公共交通の課題

### 5-1 需要が見込まれる地区での路線確保

地区単位でのバス・市電・鉄道原単位は函館駅前や五稜郭・湯川など交通結節点で高くなっているほか、バス路線が確保される大学等が立地する郊外部など公共交通の利便性が高い地区で原単位が高くなっています。



地区単位:Dゾーン集計値を500mメッシュ単位で表示

図 地区別バス・市電・鉄道原単位(令和元年(2019年)平日調査結果)



## 5. 函館圏の公共交通の課題

### 5-2 乗換利便性の向上

函館圏では、函館駅・五稜郭周辺の流動が多くなっています。

また、都市圏内居住者の総乗降者は五稜郭周辺、乗換利用は函館駅周辺が最も多くなっています。

※当該集計結果は、函館市亀田支所・函館市亀田交流プラザ前の美原地区路線バス乗降場の供用開始（R3.4）前のR1調査結果による

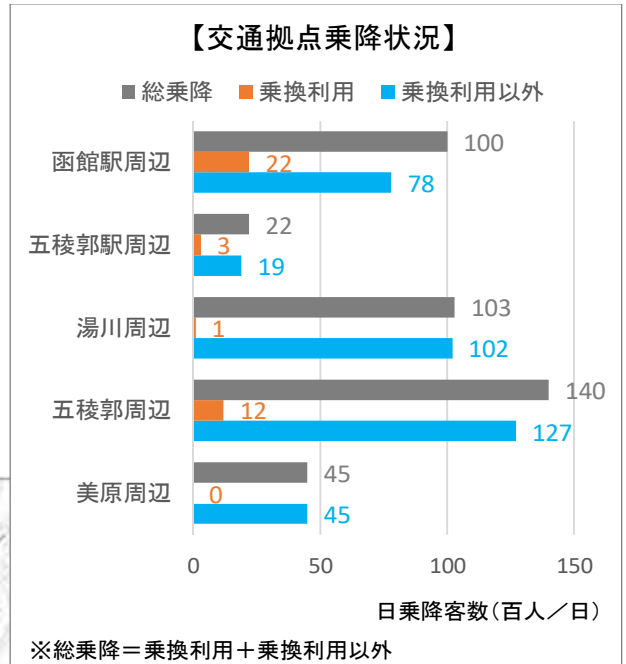


図 交通拠点の乗換利用状況  
(令和元年(2019年)平日調査結果)

※乗換利用とはバス→市電などバス・市電・鉄道間乗換の客数。



図 バス・市電・鉄道流動(令和元年(2019年)平日調査結果)



## 5. 函館圏の公共交通の課題

### 参考：美原地区路線バス乗降場の供用開始（R3.4）後の乗換状況

美原地区路線バス乗降場の供用開始後の令和3年10月の主要交通拠点における乗換状況を見ると、五稜郭周辺における乗換が最も多く、次いで函館駅周辺が続いています。美原周辺においては、バスからバスの乗換利用が多く発生しています。

※当該集計は、交通系ICカード「イカすニモカ」のデータ（函館バス、市電で利用可能）を利用しており、鉄道利用は含まれていない。

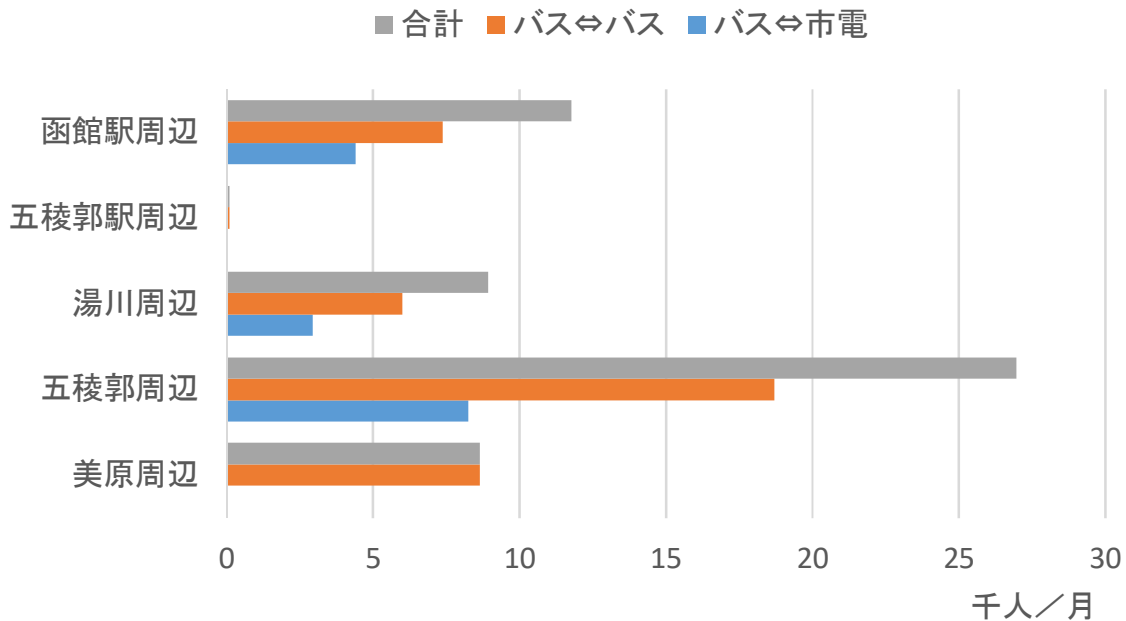


図 函館バス・市電の月乗換利用者数(令和3年(2021年10月))

資料:交通系ICカード「イカすニモカ」2021年10月データ



函館市 美原地区路線バス乗降場 (R3.4供用開始)



## 5. 函館圏の公共交通の課題

### 5-3 地区別バス・市電・鉄道に対する満足度

地区単位でのバス・市電移動において「満足」と回答した人の割合は、路線が充実しているJR函館駅や五稜郭・湯川地区など交通結節点では低い傾向にあります。

一方、鉄道移動については「満足」と回答した人の割合が20%未満のエリアが多い傾向にあります。

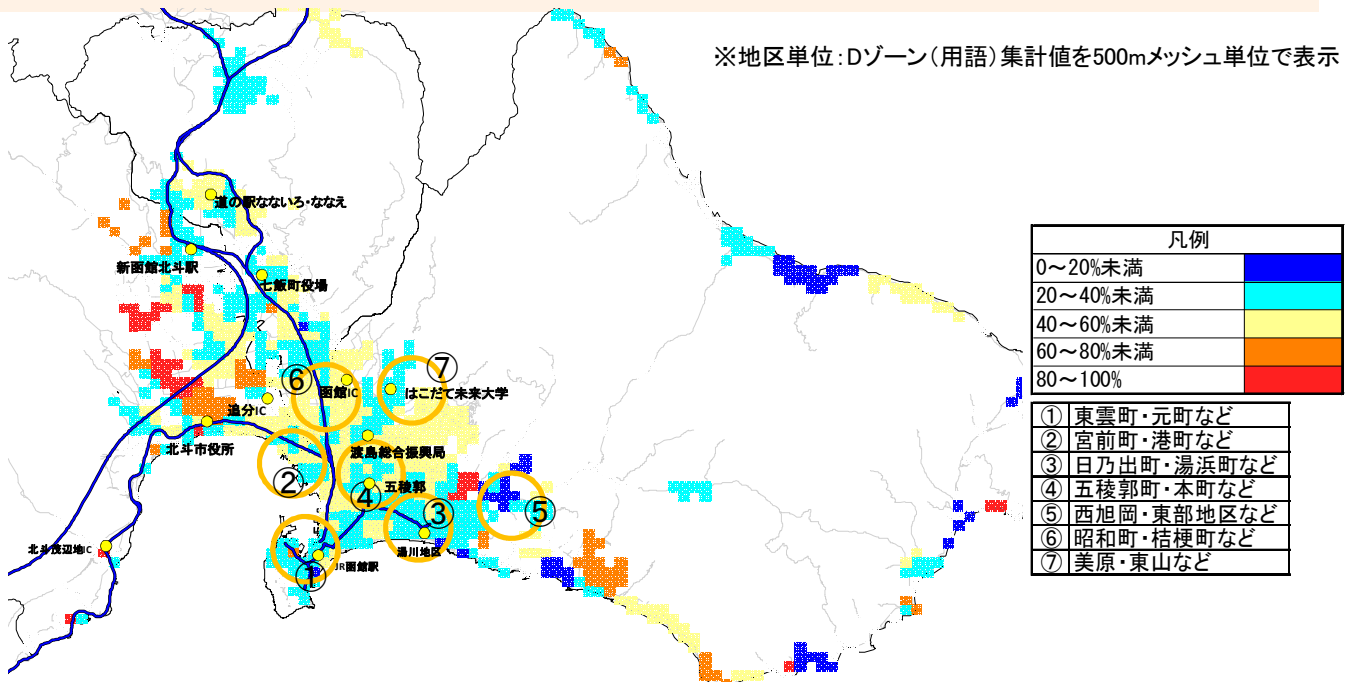


図 バス・市電移動において「満足」と回答した人の割合(令和元年(2019年)住民意識調査結果)

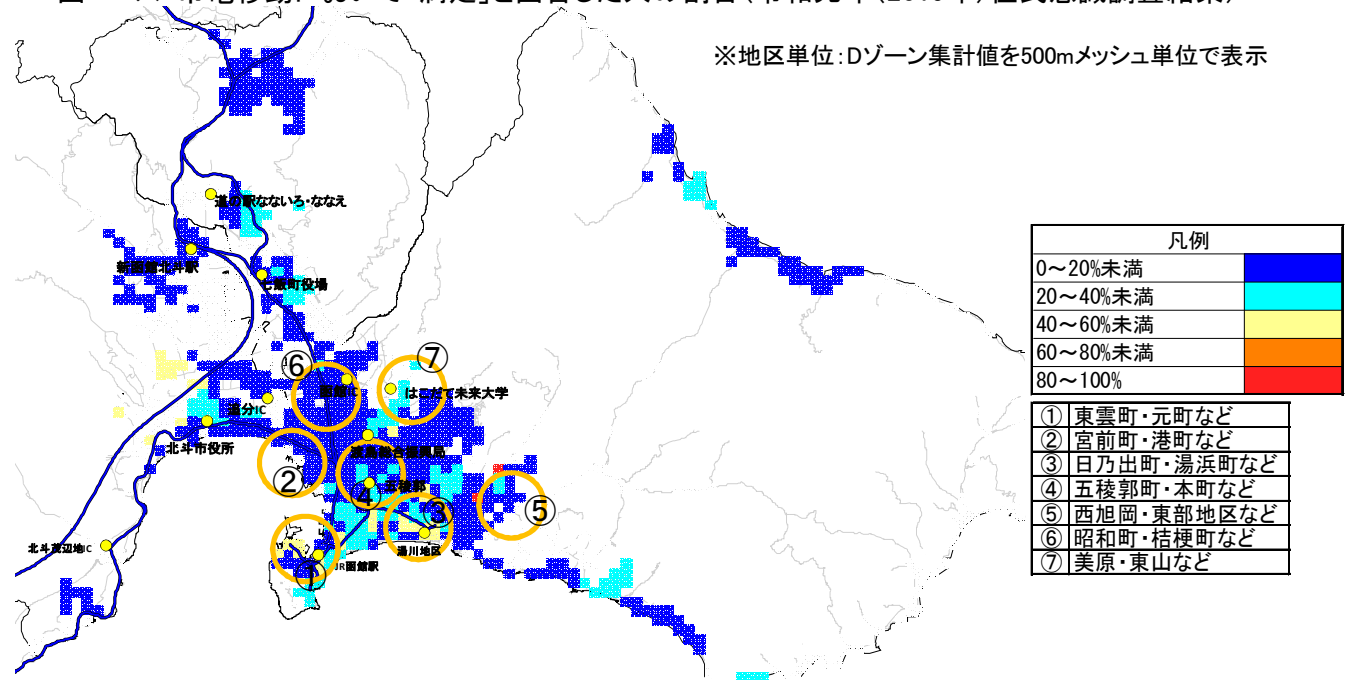


図 鉄道移動において「満足」と回答した人の割合(令和元年(2019年)住民意識調査結果)



## 5. 函館圏の公共交通の課題

### 5-4 新たな交通サービスに関する意向

主な調査地点までのアクセスの評価は高いが、費用、所要時間の評価が低くなっています。五稜郭駅は、各項目平均よりも評価が低く、特に費用、乗換の評価が低くなっています。

また、目的地までの最適な移動手段の検索と予約可能なサービス及び複数の移動手段の支払いの一括サービスについては、都市圏在住者の7割程度が重要と考えています。

調査地点	アクセス	費用	待合場所	乗換	乗車空間	駐車台数	所要時間	利用しやすさ
大沼公園駅	3.6	3.2	3.3	3.1	3.5	3.3	2.9	3.4
なないろ・ななえ	3.8	3.2	3.6	3.3	3.5	4.0	3.0	3.7
新函館北斗駅	3.3	2.9	3.5	3.2	3.5	3.3	3.0	3.2
七飯駅	3.5	2.6	3.2	3.1	3.3	3.4	3.1	3.3
フェリーターミナル	3.6	3.5	3.8	3.2	3.6	3.7	2.8	3.4
五稜郭駅	3.2	2.6	2.9	2.8	3.1	2.9	2.9	3.1
函館駅構内	3.7	3.0	3.3	3.3	3.4	3.1	3.0	3.4
木古内駅	3.5	3.1	3.4	3.2	3.5	4.0	3.0	3.7
函館空港	3.6	3.2	3.2	3.1	3.4	3.4	3.2	3.4
函館山	3.7	3.1	3.2	3.2	3.4	3.3	3.0	3.4
函館朝市	3.8	3.3	3.3	3.4	3.4	3.3	3.1	3.6
美原周辺	3.4	3.2	3.3	3.1	3.3	3.2	3.0	3.3
五稜郭公園	3.9	3.6	3.2	3.4	3.5	3.5	3.3	3.7
五稜郭周辺	3.5	3.1	3.1	3.1	3.2	3.0	3.0	3.4
湯川周辺	3.4	3.2	3.1	3.2	3.3	3.1	3.1	3.5
西部地区周辺	3.7	3.2	2.5	3.2	3.3	3.2	3.2	3.8
函館駅前広場	3.7	3.2	3.2	3.3	3.4	3.2	3.0	3.6
平均	3.6	3.1	3.2	3.2	3.4	3.3	3.0	3.5

図 調査地点までに利用した交通機関に関する評価(令和元年(2019年)補完調査結果)

※評価点は良い評価を5点として、以下1点刻みで減少させ、回答数による重みづけ平均値を算出(不明を除く)。

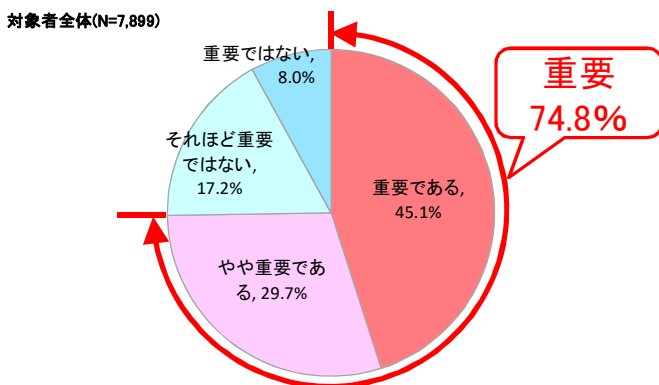


図 目的地までの最適な移動手段の検索や予約可能なサービスに関する意向

資料: 令和元年(2019年)  
住民意識調査結果

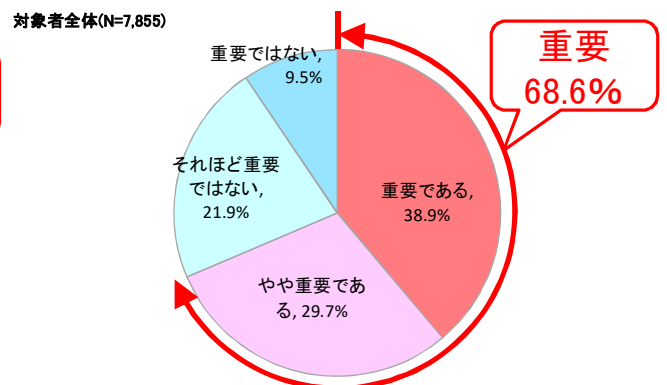


図 複数の移動手段の支払いを一括でできるサービスに関する意向

資料: 令和元年(2019年)  
住民意識調査結果

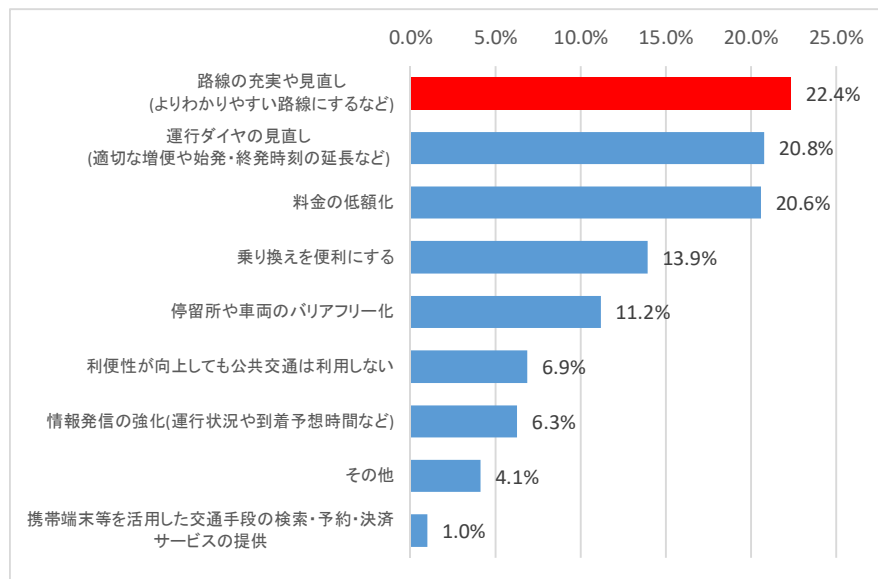


## 5. 函館圏の公共交通の課題

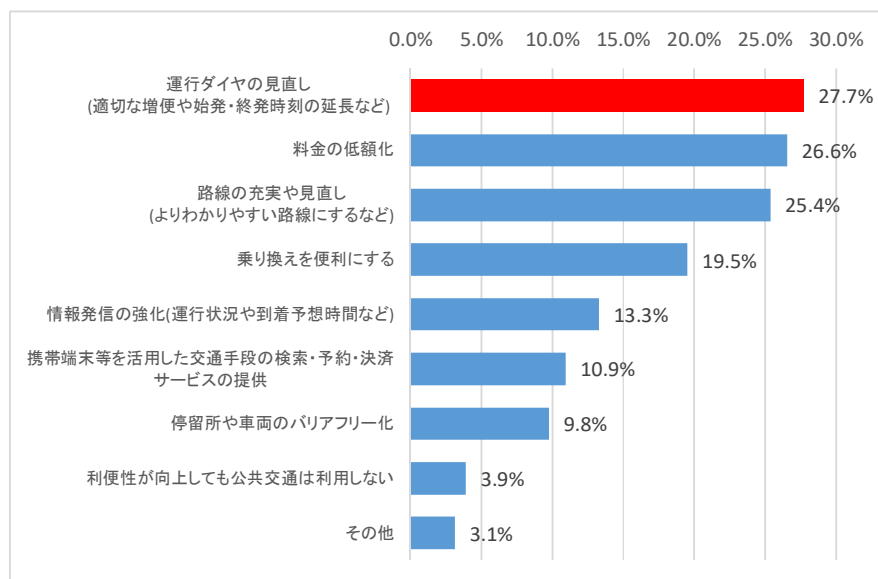
### 5-5 公共交通への転換条件

高齢者が自動車で移動する際に感じる問題点として、『冬期の安全性に不安がある』と回答した人の公共交通への転換条件は、『路線の充実や見直し』が最も高く、次いで『運行ダイヤの見直し』『料金の低額化』が続いています。

一方、15～64歳では、『運行ダイヤの見直し』が最も高く、次いで『料金の低額化』『路線の充実や見直し』が続いています。



※高齢免許保有者を対象



※15～64歳の免許保有者を対象

図 「冬期の安全性に不安がある」を選択した人の公共交通への転換条件

資料: 令和元年(2019年)住民意識調査結果